

健康で豊かな生活のために

2002. 3. 5

●野●子 様

私たちは

あなたが「お口の健康を取り戻し

生涯にわたりご自身の歯を使っていたくため

従来の治療中心型の歯科治療でなく

予防中心型の歯科医療

を行っています。

このことにより私たちが

皆様のお役にたてることを願っております。

足立 優 歯科診療所

歯科医療サービスを受けられるにあたって

◎歯科医療サービスは、あなた自身が自身の希望により選択することができます。
どのような方針があなたにふさわしいでしょうか。

(1)従来型の歯科医療サービス（治療中心型）

目標：トータルの生じた所、気になっている事を中心に取り組む。
長所：短期間、低コストにより、処置が行える。
短所：原因や表面化していない問題の先送りにより再発しやすい。
歯を守る上では不利な方法。

(2)予防管理中心型の歯科医療サービス

目標：生涯にわたり、自分の歯を使い続ける事。
（おいしく食事をする、笑顔をすてきに保つ、発音や声を大切にすると、
歯科医療での再々の痛みを避けるなど、これらがもたらしてくれる生活の
質の豊かさを守ることが目的）
長所：よりよい状態で歯を使っていること（入れ歯にしない事）
短所：時間、コストがかかる。
処置内容が多い。

◎予防管理中心型の歯科医療サービスを受診されるにあたり、知っておいていただきたい事柄

①歯を失う病気について
歯を失う病気には4つの種類があります。

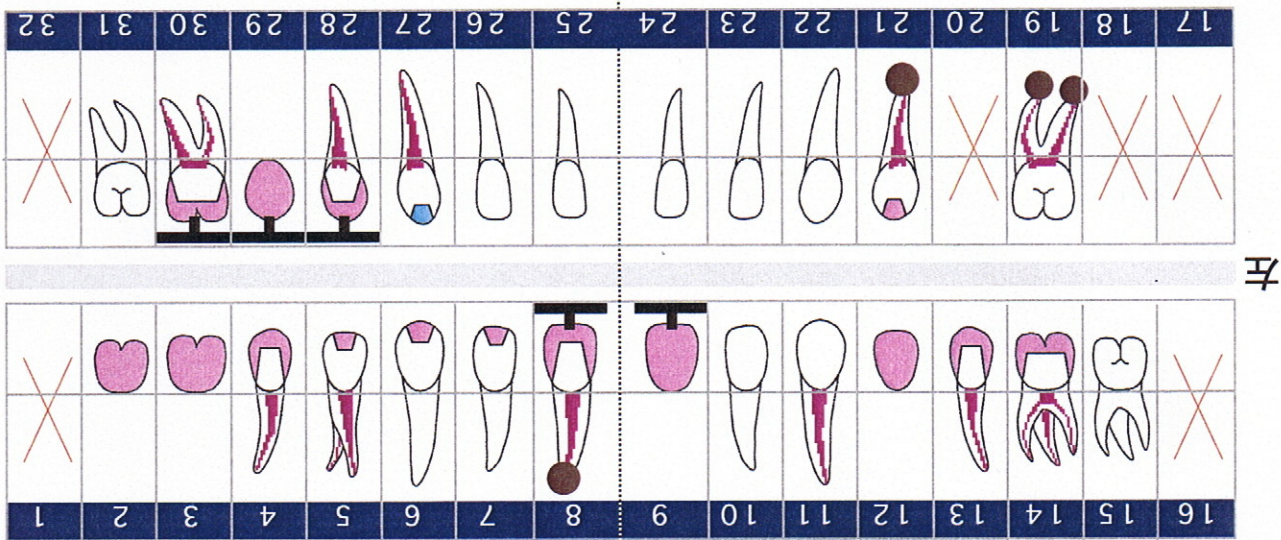
病 気	原 因	内 容 や 種 類
1.虫 歯	細 菌	口の中に取り込まれた糖分を原料として細菌が酸を作り、その酸が歯を溶かす病気
2.歯 周 病	細 菌	細菌の作り出す毒素が歯ぐきにしみ込み、炎症をおこさせ、歯ぐきと歯を支える骨を溶かす病気
3.不良な治療	医療サービス	行われなければならない最善の歯科治療がなされていない事により、歯の寿命が短くなったり、他の病気を誘発してしまう病気
4.咬み合わせ	・歯並び ・修復治療	歯の生える位置や、修復物の作り方などによって一部の歯に過剰な負担が集中し、そのために歯が壊れる病気

②あなたのお口の様子

生涯にわたり、ご自分の歯を使い続けるために受診される歯科医療は、私達医療サービス側とあなた様ご自身という、双方の協力によって成り立ちます。
そのためにはまず、あなたが、あなた自身のお口の中の状態をよく知っていただく事が必要です。

●野●子 様 のお口の状態 (歯の根と修復の状態)

このレイアウトは、分かりやすくするために鏡にうつした状態で表示しています



あなたの歯の状態の集計 (歯根、修復、位置関係等)

不完全な歯の根の数	11 本
不良と思われる冠物の数	6 本
不良と思われる詰物の数	4 本
異常なすり減りのある歯の位置	上左奥 上左前 上右前 上右奥 下左奥 下左前 下右前 下右奥
噛み合わせの上下の顎の状態	スレを認めます
隣りどうしの歯の状態	異常のところがあります
顎関節の状態	正常です
歯並びの状態	正常です

あなたの歯の状態の概要

歯の根の状態	多くの歯の根に不完全な根の治療状態が認められます。
歯の修復の状態	多くの歯に、歯と修復物の境目が合っていないか、または設計不良の修復物が認められます。このことが二次的な虫歯の発生や歯周病の進行に影響を与えています。
噛み合わせの状態	上下の歯が、顎の位置関係から見た適正な位置で噛み合っていないかもしれません。この状態は一部の歯に過剰な負担を与えています。
歯並びの状態	噛み合わせを支えることができなくなっており、特定の歯に負担が集中することで歯を失いやすくなっています。

足立 優 歯科診療所

足立 優 歯科診療所

衛生状態	お口の中の衛生状態に問題が認められます。お口の中に多量の歯垢が付着しています。また歯石も多量に付着しており、これらは口臭や、虫歯、歯周病の原因になっています。
親知らず	親知らずは認められません。
虫歯	多くの歯に問題が認められ、一部保存が困難な状態になっています。
歯周	全体の歯ぐきに腫れがあり、深い歯周ポケットと出血が認められます。歯を支える骨の破壊が進行しており、中期の歯周炎（歯槽膿漏）の状態です。

あなたの歯の状態の概要

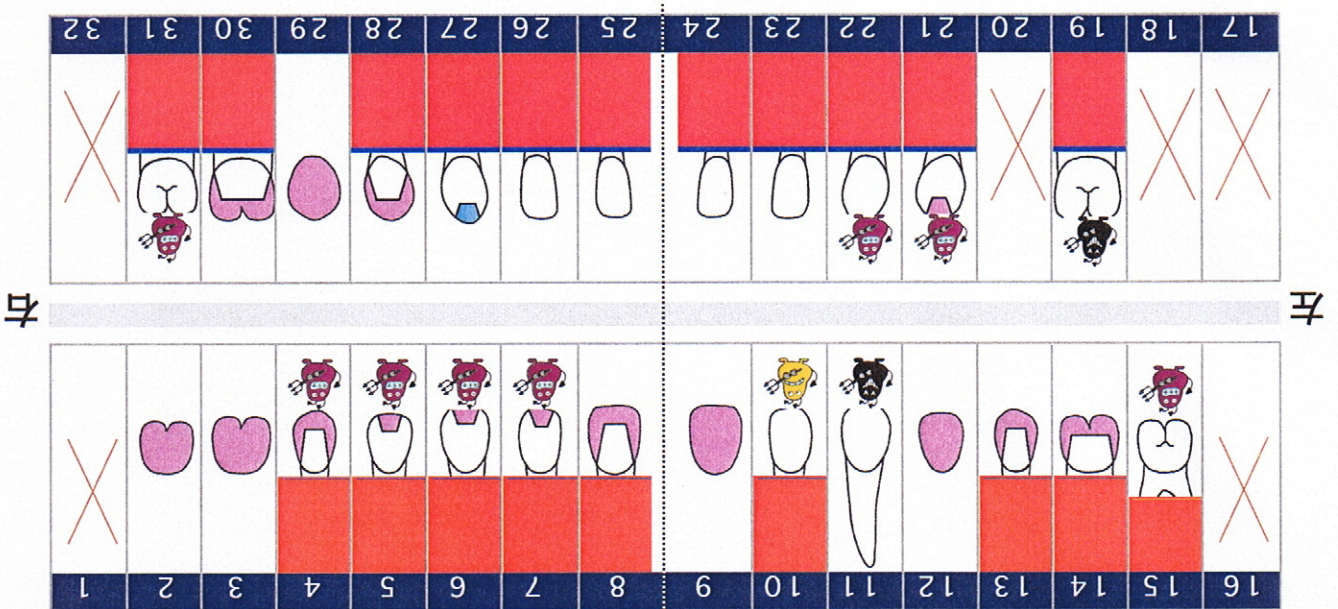
失った歯の数	11本
虫歯の歯の数	11本
知覚過敏の歯の数	0本
破折、ひび割れの歯の数	0本
動揺のある歯の数	0本
親知らずの歯の数	0本
歯ぐきの炎症	全体に認めます
歯周ポケットの状態	一部深いところがあります

あなたの歯の状態の集計（虫歯、歯周）

歯肉の状態

歯を支える骨の状態

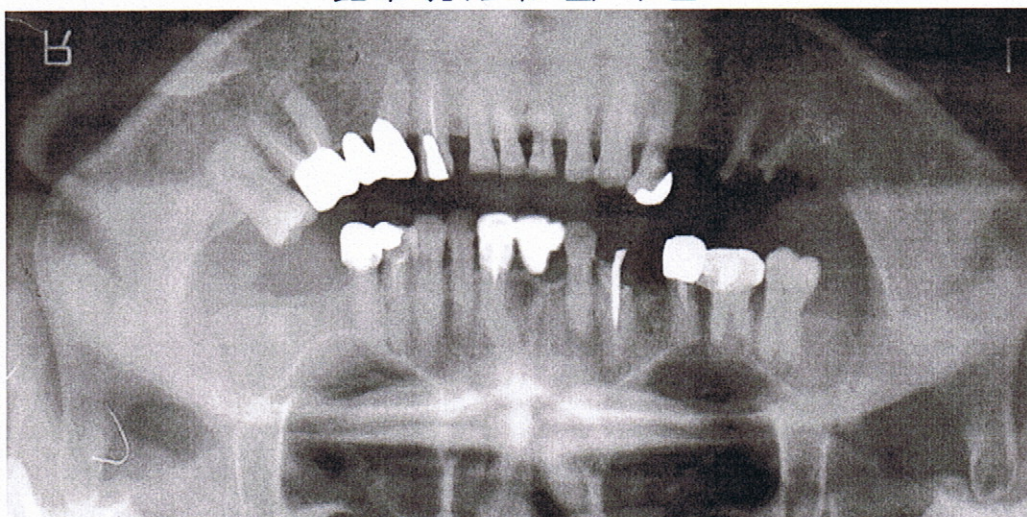
虫歯の状態



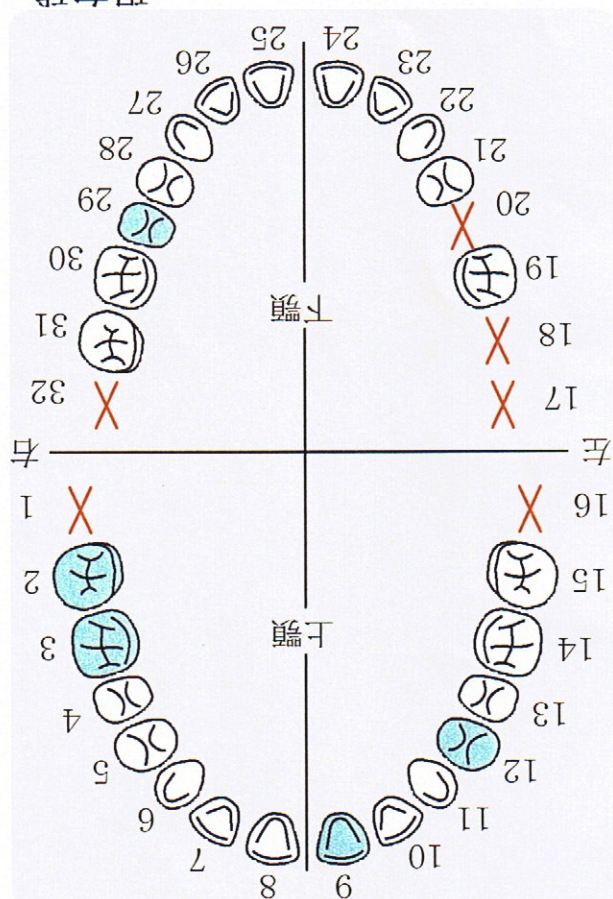
このレイアウトは、分かりやすくするために鏡にうつした状態で表示しています

●野●子 様 のお口の状態（虫歯と歯周の状態）

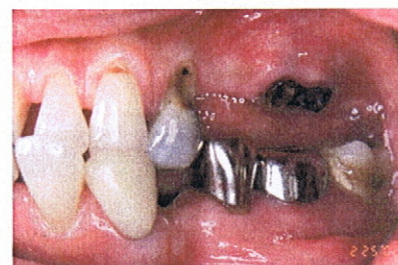
足立 優 歯科診療所



現在残っている歯の数 21 本



- <口の中の見方>
- ・右上親不知を1番とし、反時計回りの順番です。
 - ・Xは抜けてそのままの歯です。
 - ・ブルー表示は抜いた後、入れ歯などの処置がされている歯です。
 - ・グレイ表示は埋もれている歯です。

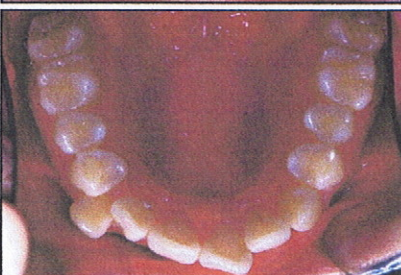
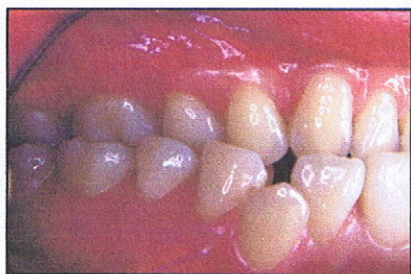
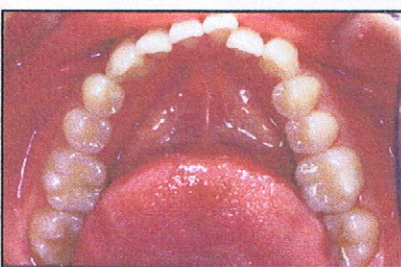
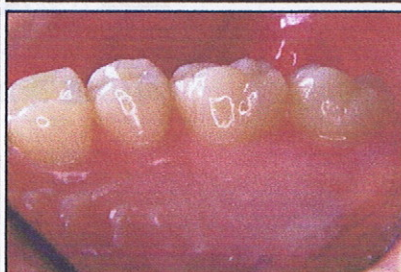
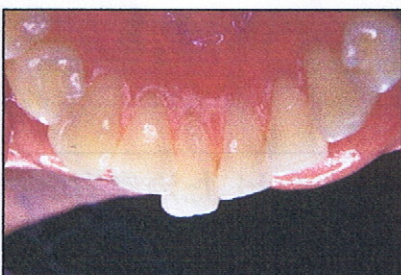


このレイアウトは、分かりやすくするために鏡にうつした状態で表示しています

●野●子 様 のお口の状態 (口腔内写真)

作成日：平成14年3月5日

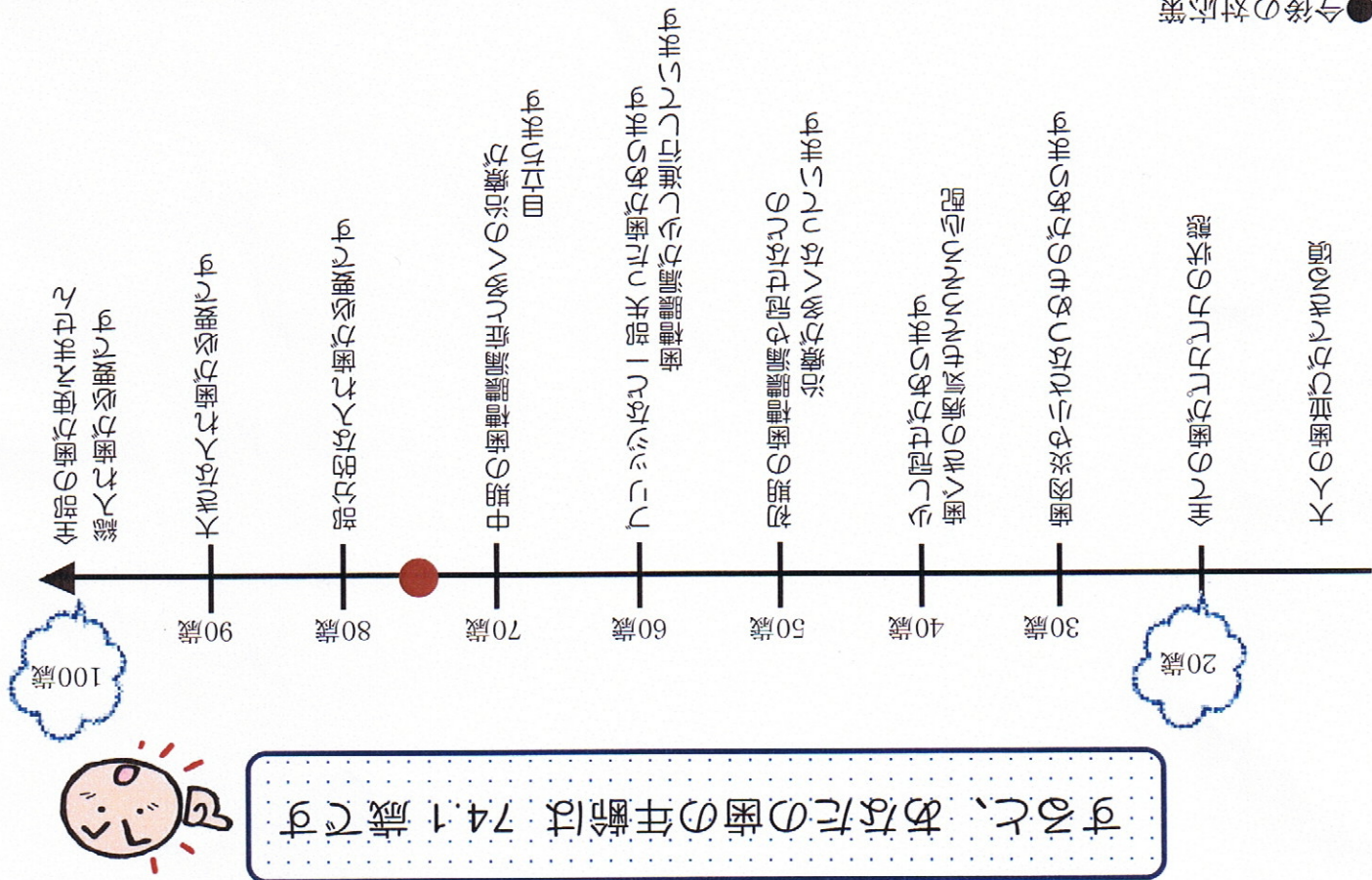
担当医：足立 優



●今までのお口の様子は

今までお口の健康管理において「苦勞をされた様子が伺えました。治療や健康管理においては対症療法としての取り組みであり、病気の発生の根本的原因に対する対処が出来ていなかったようです。今後同じ方針で対処するならば少しずつ歯を失っていくことは避けられないといえるでしょう。

●デンタルエイジ
あなたのお口の健康状態を年齢に換算してみよう。
歯が全て健康でしつかりと使える状態を20歳とし、歯を全て失った状態を100歳と想定します。



●今後の対応策

もしもあなたが生涯にわたり、ご自分の歯を使っていきたいと考えるならばまず、口の中には歯を失ってしまうような病気が起こり、その原因は何かを知ることから始めなければなりません。その上で、

- ①病気の原因を完全に取り除くこと。
- ②現状におけるよりよい状態へ回復してやること。
- ③長期にわたる管理体制を整えること。

以上のことが必要といえます。